

北海道大学医学研究院に産業創出分野を設置

～再生医療分野への貢献に期待～

【概要】

産業創出分野は、北海道大学と民間等外部の機関が共通の課題について一定期間継続的な組織対組織型^{*1}共同研究を実施することにより、社会的に高い付加価値を持つ産業を創出し、社会イノベーションを推進することを目的とする制度です。

2019年7月1日（月）、北海道大学は持田製薬株式会社と共同で、軟骨修復治療材及び椎間板組織修復材の臨床応用を加速させ早期の実用化を目指す、また、バイオマテリアルとしてのアルギン酸ゲルの機能に着目し、再生医療分野に新たなイノベーションを起こす拠点として、以下の産業創出分野を設置しました。

名称：バイオマテリアル機能再生分野

英語名称：Biomaterial function regeneration field

【産業創出分野の開設に至った経緯】

北海道大学（研究代表者：北海道大学大学院医学研究院 岩崎倫政教授）は、持田製薬株式会社と、国立研究開発法人科学技術振興機構の産学共同実用化開発事業（開発課題「硬化性ゲルを用いた関節軟骨損傷の治療」）の採択を受けて、軟骨修復治療材の開発を進め、今秋から全国の医療機関での治験を開始します。

また、同医学研究院の須藤英毅特任准教授は、硬化性ゲル（アルギン酸ゲル）を、腰椎椎間板ヘルニア摘出術後に埋植する新しい治療に取り組んでおり、平成30年11月より国立研究開発法人日本医療開発機構（AMED）の革新的医療技術創出拠点プロジェクト「橋渡し研究戦略的推進プログラム」の支援を受け、医師主導治験を開始しています。

上記のプロジェクトが順調に進捗するなか、軟骨修復治療材及び椎間板組織修復材の実用化を加速化するため、アルギン酸ゲルを用いたさらなる研究の発展のために、産業創出分野を開設するに至りました。

【内容・対象・意義】

本分野は、大学院医学研究院内に設置し、整形外科教室と連携しています。ここでは、アルギン酸ゲルを再生医療のためのキー・マテリアルとし、（1）治療法の開発、（2）デバイスの開発、（3）新たな治療のためのトレーニング法の開発、（4）細胞との併用療法の検討等、実用化を目指した研究を行います。本分野を設置することで、企業との連携関係を一層強め、共同で取り組んでいる軟骨修復治療材及び椎間板組織修復材の臨床応用を加速させ、早期の実用化を目指すことができます。また、バイオマテリアルとしてのアルギン酸ゲルの機能に着目し、再生医療分野に新たなイノベーションを起こすことが可能となり、再生医療における新たな拠点形成を目指します。

【開始時期】

令和元年7月1日より2年間

お問い合わせ先

北海道大学大学院医学研究院 整形外科学教室 教授 岩崎倫政 (いわさきのりまさ)

T E L 011-706-5936 F A X 011-706-6054 メール niwasaki@med.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学総務企画部広報課 (〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimuhokudai.ac.jp

【用語解説】

*1 組織対組織型 … 企業及び大学のトップマネジメントが関与した、両者の組織をあげた共同研究のこと。